

地震回数の計測基準：弥陀ヶ原 上下動振幅 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間 1.5秒以内
 ただし、欠測等の場合は代替点（中飯場、大倉山東）により計数しています。

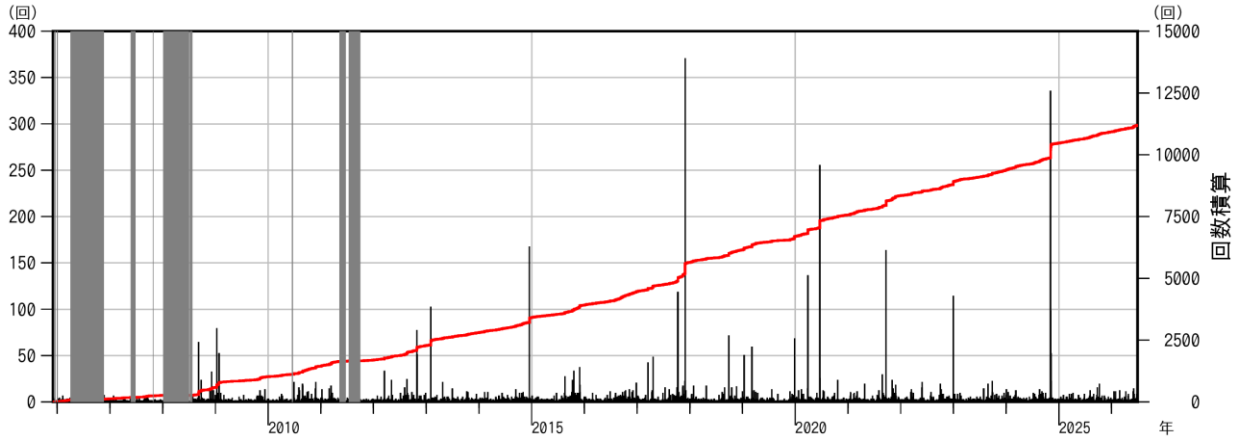


図3 白山 日別地震回数と積算回数（2005年12月1日～2026年6月30日）
 図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

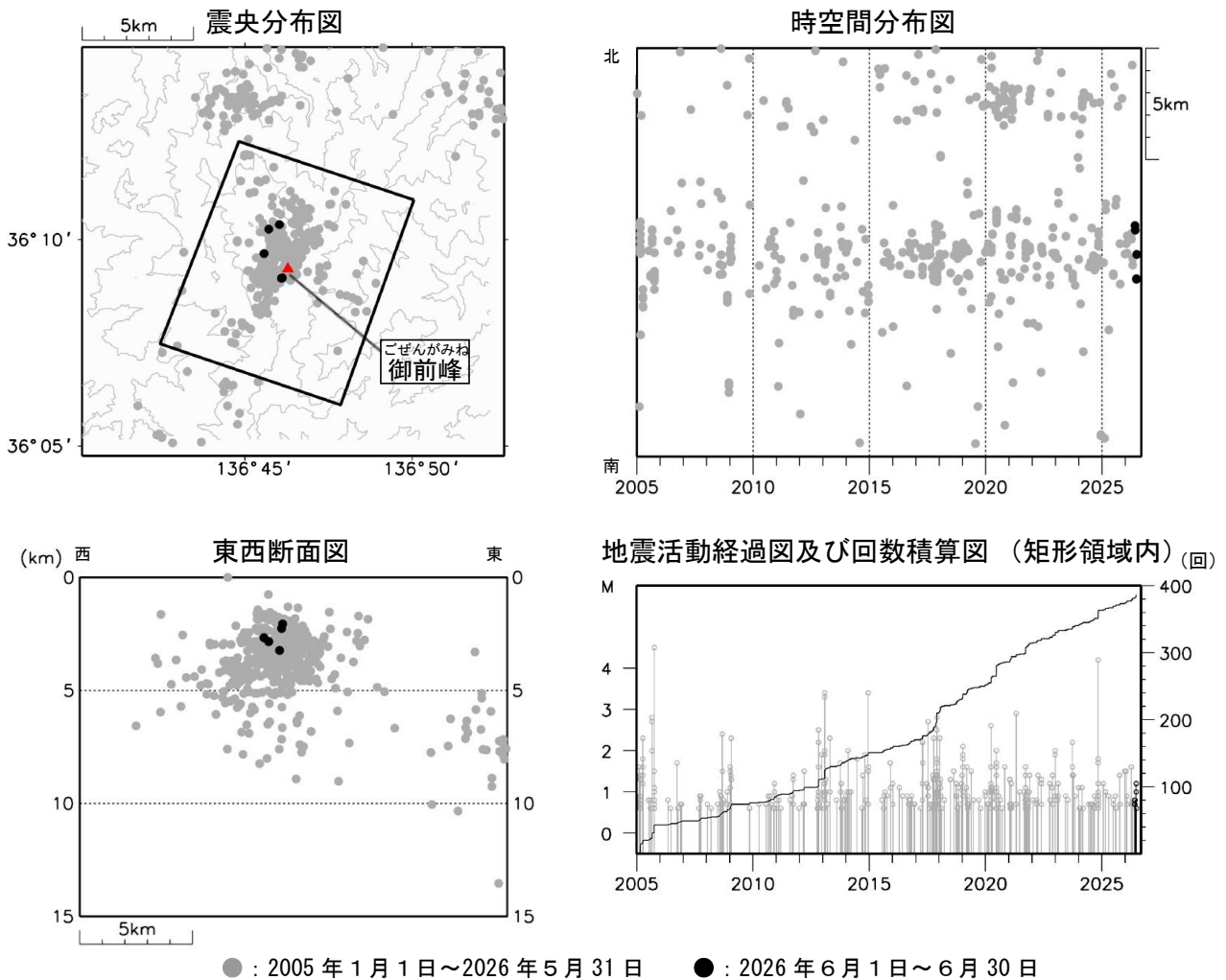


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005年1月1日～2026年6月30日）
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020年9月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しています。
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6以上の地震を表示しています。
 図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。
 ・今期間、白山付近の地震活動は低調に経過しました。



図5 白山山頂付近の状況（2026年6月24日）

・24日に北陸地方整備局の協力により実施した上空からの観測では、白山周辺で噴気は認められませんでした。

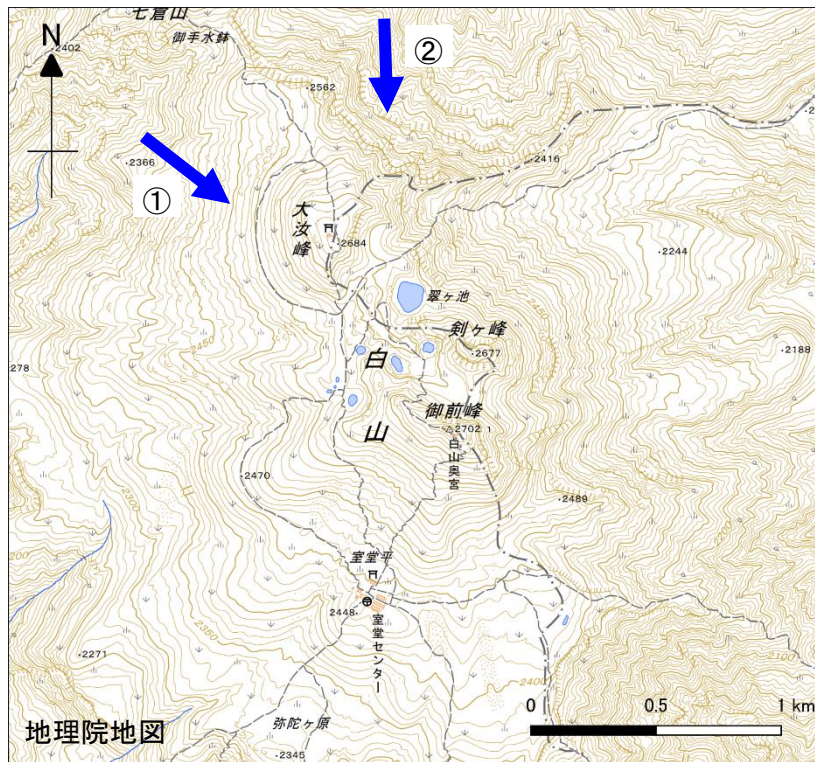


図6 白山周辺図

図中の番号は、図5の撮影方向に対応しています。